



Profile

2003年福井工業高等専門学校機械工学科を卒業後、岐阜大学工学部機械システム工学科に編入。05年に同大学を卒業後、オークマやサンドビックなどを経て、23年ブルーム・ノボテスト入社。今年1月1日から現職。座右の銘は「人間万事塞翁が馬」で、趣味は甲子園観戦。福井県出身の43歳。

ソリューション提案を推進

ブルーム・ノボテスト 朝尾 信之 ▲あさおのぶゆきVさん

価値を守り、正しく伝える

首尾一貫したソリューション志向

今年からブルーム・ノボテストの経営のかじ取りを担う朝尾信之

社長が大切にする価値観を一言で表すところなるだろう。

朝尾社長は大学卒業後、オークマやサンドビックなどでキャリアを積み、主に機械加工の分野で顧客の課題解決に貢献してきた。「お

客さまと丁寧に向き合い、自社の製品やサービスを通じてお困り事を解決するのが、私にとっての働く喜び」と述べる。

ブルーム・ノボテストに2023年5月に入社したのも、製品開発力や技術力の高さに引かれたのに加え、ソリューション提案を推進する企業姿勢が魅力に映ったからだ。同社では経営企画室長として、営業部門、技術サービス部門、管理部門の業務を全般的に掌管。そして、山田亨前社長から経営のバトンを引き継ぎ、今年1月1日付でトップに就いた。

「1999年の設立以来、日本のお客さまにソリューションを提案する土台を山田が25年かけて築き上げてきた。私の役割はその価値をしっかりと守りつつ、お客さまにそれを正しい形でお伝えすること」と意気込む。

訪問件数を増やす

機上測定ソリューションを日本市場にさらに浸透させるため、まずはソフトウェアの機能提案を重点的に強化するという。

その一環で昨年には技術・サービ

ス部門を、据え付けなどの各種サービスを担う「エンジニアリングチーム」と測定ソリューションの技術開発を担う「プロダクトチーム」の2つに分けた。

今後はプロダクトチームが主体となり、測定自動化ソフト「フォームコントロールX」や測定データ可視化・解析用ソフト「LCVIS ION（ビジョン）」といった競争力が高い独自製品のアプリケーション（応用事例）開発を推し進め、日本市場の顧客ニーズに合わせた形で展開する。

また、アジアでは、中国の上海やインドのベンガルールで建設を進めている技術拠点「ブルーム・ノボテストコンピテンスセンター」との連携も視野に入れるという。

ソリューション提案を推進するには、顧客のニーズを吸い上げる体制を構築することが何より重要だ。朝尾社長は「お客さまが抱える真のニーズは、自分たちの力で開拓しなければならぬ。そのため、エンドユーザーへの訪問件数をこれまで以上に増やし、課題解決に貢献したい」と話す。

（桑崎厚史）